

深川市農業関係団体・深川市議会意見交換会

1月23日に深川市農業関係団体との意見交換会を開催しました。今回の意見交換のテーマは、「農業基盤確保と農業の担い手対策」としており、基幹産業である農業における課題などについて関係団体と意見を交わしたことで、担い手対策以外にも農地行政に関する意見なども聴かせていただくことができました。

ここでは当日に出された意見の一部を紹介します。

<参加者意見>

- ・米価が安定しないため、経営にも影響を及ぼしている
- ・面積を拡大しても自分が農業を辞めたときのことを考えると不安になる
- ・新規就農者に対する研修後の生活支援の強化を望む
- ・女性農業者に絞った担い手対策も必要ではないか
- ・農業者による道の駅での農産物の対面販売なども観光客へのPRに有効だと思う
- ・多度志地区のソバ作付が年々ふえ、個体出荷も限界であり計画的な対策も必要

詳細については、報告書としてまとめたものを深川市ホームページ（QRコード）で掲載しています。



議員定数見直しに関する意見交換会

深川市議会では、平成28年3月に議会改革特別委員会を設置し、市民からの信託に応える開かれた議会を目指して、さまざまな協議を重ねてきましたが、その中の一つに市議会議員の改選期である平成31年6月へ向けて、議員定数の見直しについての課題がありました。

この特別委員会の中では、現在の定数を決めた平成17年に比べ人口が約4,500人減少していること、類似人口都市との比較、議会が持つ本来の役割を果たせる人数、常任委員会の数や今後の議会改革など、幅広い内容に渡り検討を続け、その結果、現在の定数16人から若干の削減を図る方向を確認したところです。

2月19日に開催した意見交換会は、そういった結果に至るまでの協議内容の説明も行い、若干の削減という方向を踏まえた上で、下記の市内各団体の代表者に出席いただきました。

現在、この意見交換会で出された貴重な意見を基に協議を重ね、定数を2人削減する方向で調整しており、常任委員会の構成など新たな課題に向けて議論を加速させています。



<参加団体>

町内会連合会連絡協議会、シルバークラブ連合会、男女平等参画推進協議会、きたそらち農業協同組合、農村青年部協議会、JA女性部連絡協議会、商工会議所、青年会議所、深川地区連合会